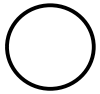
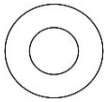
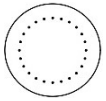
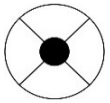
【稲城市排水設備計画確認申請書及び完了届における平面図で使用する符号】

図名	図	示す内容	図名	図	示す内容
赤色		汚水系統	緑色		雨水系統
赤実線		汚水管	緑実線		雨水管
赤破線		汚水既設管	緑破線		雨水既設管

その他、施設記号も破線は既設、実践は今回新設するものとして書き分けてください。

以下、汚水は赤で雨水は緑で表示すること

ます		排水管の屈曲点には必ず設置	溜めます		浸透ますが使用できない地域で使用 ※南山区画整理区域内の雨水系統は必須
公共ます		管底接続とすること 原則１方向接続、土地の都合等（設計都合は不可）で難しい場合は、理由を申請図面に記載した上でクロス等の使用可	浸透ます		通常宅地は宅内全浸透が基本のため、浸透ますを使用 ※南山区画整理区域内の雨水系統は使用不可 ※南山地区以外は宅内全浸透が基本
ドロップます		公共ますへ管底接続を行うため、手前でドロップますを入れて高さ調整を行うことが多い。	泥ダメます		外流しと下流のますの間に必ず設置
トラップます （UTます）		害虫侵入盗を防ぐために給湯器の出口に主に使用することが多い。			

その他の留意事項

1　排水設備図検討の際には、東京都排水設備要綱等、都の排水設備基準を確認して作成すること。

2　稲城市内は全区域分流区域のため、汚水系統と雨水系統を分けて記載すること。

3　給湯器等のドレン排水は原則汚水へ接続すること。雨水に接続するに足る理由がある場合は、事前に施工相談にて下水道課と協議すること。

4　浸透不可地域を除き、宅内全浸透を前提とした計画を行うこと。前面道路に下水道台帳に記載されている雨水管がある場合は、オーバーフロー分を排水できるよう接続すること。